

地域の人のためのシニアパソコンクラブがあるというので、取材させていただきました。
 掛川市旭ヶ丘団地の公会堂で月2回、開かれています。
 もう20年くらいになるそうですから、パソコンが普及すると同時に始まったようです。
 60代から90歳まで、いわゆるパソコンが苦手と言われる世代ですが、みなさん動画の編集をされていました。
 今日は写真5枚使って、タイトル写真の説明を入れながら一つの作品を作ります。
 会長の高井さんがホワイトボードにメモ書きただけで、みなさんさっさと始めていきます。



DSC02053



DSC02057

作品は「旭ヶ丘パソコンネット塾」というFacebookにアップしていきます。それをモニター画面で見ながら音楽もつけて、それぞれ個性豊かな動画が出来上がっていきます。
 お互いに教えあったり、会長の高井 豊さん(写真左端)から習ったり、わからないことはすぐ解決できるのがいいですね。



DSC02059



DSC02054

最高齢90歳の與田元次(写真手前)さんは、「90歳でもがんばっています。ポケ防止に最高です！」とこの会に積極的に参加しています。
 他の皆さんも、口々に「ほんとに楽しいよ」と話されていましたが、これも教える高井さんあってのことと思われる。



DSC02058

旅や庭の花、できあがった作品を通して、「〇〇さん、ここ行ってきたの?」「これは何という花?」と会話もはずみます。



[DSC02056](#)



[DSC02055](#)

部屋にはインターネット接続の設備などはなく、高井さんのタブレットからテザリングによるWi-Fiで個々のパソコンがネット接続しています。
最近テザリングは料金定額の範囲で1度に10台ぐらいのパソコンにネット接続が可能なのだそうです。テザリングは料金が高いというイメージをもっていましたので、新しい知識を教えてもらえました。

*) パソコンは家にいながら遠くの人と交流できる

*) 頭の体操になるアイテム

という利点があるので、シニア世代にこそ必要なものと思っているのですが、使わなければ忘れる、新しい機種になるととまどってしまうという人も多いのではないのでしょうか。

生きがい特派員について説明に苦労することもあるのですが、今回はモニター画面でこのホームページを見てもらって、すんなりわかってもらえたこともうれしいことでした。

いつでもパソコンを持ち寄って相談しあえる場があれば、もっとシニア世代にもパソコンが普及するのにとوراやましく見学させてもらいました。

小笠・榛南地区 生きがい特派員 荒木弘子